

すべてのステークホルダーとともに、 持続可能な社会を目指して未来を創造します

Message From President and CEO

▶ グローバル化の進展の中で、 ますます重要になる企業の社会的責任

グローバル化が急激に進む中、世界は絶え間なく変化を繰り返しています。

ここ数年はBRICS諸国(中国、インド、ブラジル、ロシアなどの新興大国)の躍進がめざましく、世界経済に大きな影響を及ぼしています。世界規模での需要の急増は同時に、環境への負荷にもつながっています。本年2月には京都議定書が発効されましたが、地球規模での気候変動問題に取り組むことは、企業の社会的責任であると考えます。

グローバル化によってもたらされた社会、経済、環境への影響は、新興大国の台頭の一方で、発展途上国での貧困、それに伴う児童労働などの人権問題を生み出す背景となっています。こうしたグローバル化の社会的側面に企業はどう対応するか、その取り組みがますます重要になっています。折りしも2005年は、2000年の国連総会で採択されたミレニアム開発目標(貧困の削減、保健・教育の改善、環境保護の各分野に関する行動目標)の達成に向け、全世界が課題を明確にし、今後につなげていくための年となります。企業は、自らの社会的責任を果たす上でも、これらの目標の達成に向けてイニシアティブをとって行動することが重要であると考えます。

▶ 未来を創造し、社会とともに成長する 「新・産業イノベーター」を目指して

2004年7月、私たちは新中期経営計画「INNOVATION2007」を発表しました。これは、激動の環境の中で三菱商事が持続的に成長していくための指針です。成長とは、数字上の成長、利益の増大だけを指しているわけではありません。企業市民としての責任を果たしながら、時代をリードする総合商社として、すべてのステークホルダーとともに成長していくことを意味しています。この中で、今後わが社が目指す企業像として「新・産業イノベーター」というビジョンを掲げました。これは、構造変革が本格化する中、あらゆる産業にグローバルなアクセスを持ち、市場変革の潜在力を持つわが社の強みを活かして、市場のニーズから産業をとらえ直して新しい仕組みの提案や創出をしたり、次世代を担う新産業の創生を支援することで、産業界の発展に寄与し、お客様とともに成長のシナリオを構築する役割を果たしていこうというビジョンです。

三菱商事は、「新・産業イノベーター」というビジョンの下、社会に対してより良い商品やサービスを安全性にも配慮しながら創出・提供し、物心ともに豊かで弛まない成長が可能な社会の実現に努めます。

取締役社長

小島 順彦



▶ 三綱領はCSRの拠り所

三菱商事には創業以来の企業理念である「三綱領」(所期奉公、処事光明、立業貿易)があります。三綱領は、常に公明正大でフェアな態度を貫き、社会や環境と共生の視点を持ちながら、世界と人類の未来に貢献するビジネスを展開していくことを謳っており、わが社が人・社会・環境への配慮など社会的責任を果たす上での拠り所となっています。三菱商事は世界約80カ国に200以上の拠点と500社を超える連結対象会社を有し、多彩な事業をグローバルに展開しています。これらの企業がそれぞれの本業を通じて、CSRを果たしていくことが重要であると考えています。

私は、CSRには3つのレベルがあると考えます。基本的なレベルは、法令遵守(コンプライアンス)をしっかりと果たすことであり、それぞれの国や地域で営んでいる事業を統制する法規制にしたがうということです。次のレベルは、法令遵守にとどまらず、法規制の要求を超えた社会への配慮をしっかりと意識することです。さらなるレベルは、事業の領域外であっても、企業が影響を及ぼすと考えられる場合には、自らが積極的に行動を起こすことであると考えます。

▶ CSR意識の高い人材を輩出できる企業にしたい

「INNOVATION2007」では、基本コンセプトの一つとして、「人を活かし、人を育てる」というテーマを掲げています。グローバルにビジネスを展開するわが社にとって、ビジネス感度と同時に、CSR意識の徹底・向上を図ることも人材育成には不可欠であると考えています。わが社は今年度からボランティア休暇制度を新たに導入するなど、社員の積極的な社会貢献活動への参加を支援、促進しています。社員一人一人が企業と社会を結ぶ新たな役割を担うことは社会の信頼を高めるものと確信しています。

わが社のみならず、わが国にとっても次世代に向けての人材育成は、社会の持続的な成長のための重要課題であり、企業の大切な役割です。私はそうした認識をもって、事業経営者のみならず、CSRを理解し、実行できる人材を育成し、社外に輩出できる企業にしていきたいと思えます。

2005年7月